

《中丹の農村発!! ふるさと保全自主企画》報告

中丹ふるさと再生推進事業

夏だ! 自然にふれよう農村体験開催!! (綾部市五津合町清水) ~畑口農業生産組合による取り組み第2弾を実施!!~

要 旨

去る、8月19日(木)に清水集落(綾部市五津合町)で京都市内の親子連れを対象に、『夏だ! 自然にふれよう農村体験活動』が開催されました。この取り組みは、「畑口農業生産組合かまベファーム」と「子育て応援米@チームママ米」が協力し、京都市教育委員会の『みや子ども土曜塾』の支援でサポートしていただき実施されました。

次回は第3回目として、古代米稲刈り体験や餅つき体験を取り組む予定で、都市住民の方に綾部市中上林地域清水の「安心・安全な米作り」や「豊かな自然環境」への関心や理解を高めていただけることが期待されます。

《取組概要》

1. 日 時 平成22年8月19日(木) 午前10時~午後4時まで
2. 参加者 京都市より32名(内、子ども25名)
3. 内 容 ※丹波黒豆収穫体験 ※大根・そば種まき体験 ※上林川で川遊び体験
4. 協力者概要 ※「子育て応援米@チームママ米」
→都市部に住む子育て中のママさんに、生産者の顔が見える安心・安全なかまベファームのお米を「子育て支援米」として供給し子育てを支援。



丹波黒まめの収穫風景。皆さん、たくさん収穫していただきました。



大根とそばの種まきをしました。秋の収穫が楽しみです。



交流会(昼食時)の風景です。一人ずつ自己紹介しながら交流をしました。



午後は、上林川の清流で思う存分川遊びして、豊かな自然とふれあいました。



スタッフの皆さん、お世話になりました。



石の下からは、「沢ガニ」や「いもり」をゲット。

※《中丹ふるさと再生推進事業》では、中丹管内の過疎化・高齢化が進む農山村集落が、地域活性化に向けて自主的に取り組む「都市農村交流活動」や「村おこし活動」等の取り組みを支援しています。

管内農林水産情報

平成22年9月24日

中丹広域振興局農林商工部
(担当係:地域活性化担当)

情報区分 一般 緊急 非公開 その他
()

中丹ふるさと再生推進事業《中丹の農村発!!ふるさと保全自主企画》
夢クラブ小西《子ども探検隊》が夏休みに開催されました!
綾部市小西町の子供達が「ふるさとマップ」作りに取り組んでいます!!

情報提供を行う係課
農政課 農村振興課 担い手支援課
食の安心・安全推進課 農産課
研究普及ブランド課 水産課
林務課 モデルフォレスト推進課
森林保全課 その他 ()

綾部市小西町の『夢クラブ小西』では、茶所小西の情報発信、認知度アップに向けて、小西町ふるさとマップ看板の作成に取り組んでいます。看板作成に当たっては、小西町子ども会と連携し、夏休み期間中3、小西町の子供達が「ふるさとマップ」づくりに向けて、『小西のお宝発見』に取り組みました。今後、子ども達の探検結果により、『小西ふるさとマップ』を作成し、子供達も参加して小西町の案内看板を作成することとなっています。

また、看板作成に当たっては、京都精華大の学生ボランティアがイラスト作成で協力してくれる予定です。

《取組概要》

- 日時・内容
[第1回] 8月10日(お寺、神社、地蔵等を探検)
[第2回] 8月19日(茶工場、記念碑等を探検)
[第3回] 8月26日(茶畑、ため池、山林等を探検)
- 場所 小西町周辺
- 参加児童数 10名~7名(町内小学生)
- 主催者 『夢クラブ小西』(代表者 大槻好男)



集落の氏神さん「三ノ宮神社」の狛犬が子連れになっているのを発見しました。



茶畑をバックに記念撮影



小西の美味しい「お茶」栽培の様子についても勉強しました。



道案内の石碑が倒れていたのを、子供達が探検途中で発見。



小西の主要な農業用水源の一つである「下池」を見学。洪水吐の上を歩いて渡りました。

※《中丹ふるさと再生推進事業》は、中丹管内の過疎化・高齢化が進む農山村集落が、地域活性化に向けて自主的に取り組む「都市農村交流活動」や「村おこし活動」等の取り組みを支援しています。

管内農林水産情報

平成22年10月7日

中丹広域振興局農林商工部
(担当係:地域活性化担当)

情報区分

一般 緊急 非公開 その他
()

中丹ふるさと再生推進事業《中丹の農村発!!ふるさと保全自主企画》 さとボラ in 古屋(綾部市水源の里)開催!!

～栃の実を収穫しよう!!～

情報提供
を行う
関係課

農政課 農村振興課 担い手支援課
食の安心・安全推進課 農産課
研究普及ブランド課 水産課
林務課 モデルフォレスト推進課
森林保全課 その他 ()

要 旨

9月6日(月)から9月20日(月・祝)にかけ、古屋集落(綾部市睦寄町[水源の里])において、「ふるさとボランティア活動」が実施されました。この取り組みは、昨年、集落特産品として開発、販売を開始し、素朴な味わいで人気が高まっている『とちの実おかき・あられ』の材料である「栃の実」拾い等をボランティアの皆さんと地域の方々が交流を深めながら実施したもので、昨年とほぼ同じ約360kgの栃の実を収穫することができ、集落活性化に向けた栃の実加工特産品の安定生産が期待されます。

《取組概要》 主催：栃神伝説の里「古屋未来への飛躍」実行委員会

①【日 時】9月6日(月)午前10時～午後2時
【参加者】ボランティア7名
【内 容】8月22日(日)さとボラで補修した
鹿除けネット柵の状態確認と補修

②【日 時】9月9日(木)午前10時～午後2時
【参加者】ボランティア5名
【内 容】栃の実拾い 約20kg収穫

③【日 時】9月12日(日)午前9時～12時
【参加者】上林小学校児童・保護者約30名、
立命館大学学生等10名
【内 容】栃の実拾い 約50kg収穫

④【日 時】9月15日(水)午前10時～午後3時
【参加者】華頂短期大学等18名(学生15名)
【内 容】栃の実拾い 約60kg収穫
集落マップ作成に向けた集落観察と意見交換
おかき作り・あられ作り体験

⑤【日 時】9月17日(金)午前10時～午後3時
【参加者】ボランティア5名
【内 容】栃の実拾い 約30kg収穫
鹿除けネット柵一部補修作業

⑥【日 時】9月20日(月)午前10時～午後3時
【参加者】ボランティア52名
(京都市近隣39名、中丹管内13名)
【内 容】栃の実拾い 約200kg収穫



←集落紹介マップ作成
に向け短大生が集落
を観察(9/15)

おかき・あられ作り
も体験(9/15)→



幅広い年齢層
の方が参加↓



栃の実拾い風景



記念撮影(9/20)



計量



※《中丹ふるさと再生推進事業》は、中丹管内の過疎化・高齢化が進む農山村集落が、地域活性化に向けて自主的に取り組む「都市農村交流活動」や「村おこし活動」等の取り組みを支援しています。

管内農林水産情報

平成23年2月9日

中丹広域振興局農林商工部
(担当係:地域活性化担当)

情報区分

一般 緊急 非公開 その他
()

情報提供
を行う課

農政課 農村振興課 担い手支援課
食の安心・安全推進課 農産課
研究普及ブランド課 水産課
林務課 モデルフォレスト推進課
森林保全課 その他 ()

《水源の里》古屋集落マスコットキャラクターの愛称が「とち丸」に決定しました!!

～中丹の農村発!ふるさと保全自主企画(中丹ふるさと再生推進事業)～

要 旨

綾部市の水源の里「古屋(こや)集落」では、地域活性化の取り組みの一つとして、昨年8月から集落マスコットキャラクターの愛称を募集していましたが、この度、下記のとおり、北海道から九州まで日本全国から応募のあった613点の中から愛称を決定いたしました。今後は、集落特産品の「とちの実おかし・あられ」などのイメージアップや、集落活性化に向けてのシンボルとして活用されることが期待されます。

- 1 採用作品 **「とち丸」**
- 2 募集团体 栃神伝説の里「古屋未来への飛躍」実行委員会
(※「中丹の農村発!ふるさと保全自主企画」取組団体)
- 3 募集期間 平成22年8月22日(日)～10月20日(水)
- 4 応募総数 北海道から九州まで、328名から613点
- 5 選考経過 実行委員会で613点から6点※に絞った後、地元上林小学校の児童と、キャラクターのデザイン化に携わった華頂短期大学(京都市東山区)の学生の投票により、「とち丸」に決定

※「とち丸」「ことみちゃん」「とち坊」「とち神くん」「とちみちゃん」「とっちい」



《水源の里》栃神伝説の村古屋
マスコットキャラクター「とち丸」

- 6 採用者 **大嶋 ほの花さん**
(11歳[小学5年]、京都府宇治市在住)
※「とち丸」で応募された5名の中から抽選で採用者を決定し、感謝状と古屋名誉村民の称号、副賞として古屋特産品(1万円相当)が贈呈されます。
※大嶋ほの花さんは、お父さんと御一緒に中丹ふるさと再生推進事業で取り組む都市農村交流活動に活発に参加してくださっています。
※感謝状贈呈式は、2月27日に開催される予定です。

7 新聞報道

集落再生「とち丸」よろしく

読売新聞 (1/27)

毎日新聞 (1/21)

愛称は「とち丸」

京都新聞 (1/28)

※京都府中丹広域振興局では《中丹ふるさと再生推進事業》により、過疎化・高齢化が進む農山村集落が地域活性化や元気づくりに向けて、地域で自主的に取り組む「都市農村交流活動」や「村おこし活動」等の取り組みを支援しています。